

地域づくり協議会だより

発行日：令和3年9月1日 発行者：大和町連区地域づくり協議会 広報部

一宮市末広三丁目6番1号(大和町出張所内) 電話：28-9006

◎原稿募集中

敬老の日
9月20日

敬老の日は、国民の祝日の一つで、国民の祝日に関する法律（祝日法）では「多年にわたり社会につくしてきた老人を敬愛し、長寿を祝う」日を敬老の日と定めています。

大和町連区敬老会：新型コロナウイルス感染症拡大を防ぐために中止となりました。

連区にお住いの75歳以上の方には、お祝い品(QUOカード)が届けられます。

我が国の総人口は、令和元年10月1日現在、1億2,617万人となっています。65歳以上の人口は、3,589万人(男性1,560万人、女性2,029万人)で、総人口に占める割合(高齢化率)は28.4%となりました。また、一人暮らしの方は、年々増加傾向にあります。労働力人口は6,886万人で、その中で65歳以上の方は907万人と上昇し続けています。働く人の多くが「働けるうちは

いつまでも」と高い就業意欲を持っています。

社会活動は、ボランティア活動、地域社会活動(町内会、地域行事など)、趣味やおけいこ事を行っています。『人生がより豊かになった。自らの健康を維持・増進している』と生きがいに繋げています。

連区には、散歩する範囲に集いの場『ふれあいサロン』があります。出会いとふれあい、おしゃべりなど、仲間づくりの場が増えて、支え合いの輪が広がります。自分の特技や趣味を生かして、生きがいや社会参加への意欲を高め、自己実現にもつながります。この場が世代を超えた学びの場の一つとなることを願っております。(出典：内閣府「令和2年版高齢社会白書」)

特集 ふれあいサロン

氏永ふれあいサロン 代表：木全良裕
氏永公民館 第2金曜日 AM9:00~11:00取材日
令和3年2月12日

今回は、フラワーアレンジです。木製のマスに菜の花、ガーベラ、スイトピー、スプレーカーネーション、かすみ草、ひばの花材をバランスよく生けていきます。



今まで4回行っている人気のプログラムなので皆さん手慣れた様子です。マスをフラワーペーパーで包み、リボンを結んででき上がりです。生花を前にすると、皆さんの表情が明るく華やかになります。30~40分で、でき上がってしまうのですが、笑顔あふれる楽しい時間となりました。お菓子作りの先生である役員の手作りチョコレート菓子をおみやげにいただきました。

宮地2丁目ふれあいサロン 代表：木村利信
宮地公民館 第1金曜日 AM10:00~12:00取材日
令和3年3月5日

開催にあたりマスク着用、体温測定、手指消毒、換気に十分注意しております。宮地2丁目ふれあいサロンの会員は25名程度です。現在、コロナ禍にあり、参加者は15名前後と



減っています。男性の参加者も多く、夫婦で参加される方が多いのが特徴です。今回は、最初にストレッチ体操をし、「オカリナ演奏」を楽しく聞き、最後にオカリナの伴奏でみんなで楽しく歌って終わりました。

あいさつの日 標語募集

毎月第三日曜日は「家庭の日」です。大和町連区では、その翌日「あいさつの日」として、各地域でお互いあいさつを交わそうという運動を実施し、地域の交流を深める活動を行っています。この度「あいさつの日」活動の主題となる標語を募集することにしました。

大和町連区内在住の方ならどなたでも応募できます。回覧してあります募集要項をご覧ください。応募用紙に住所、氏名、連絡先などを明記の上、大和公民館に置いてある応募箱へ入れてください。たくさんのご応募をお待ちしております。

(郵送の場合) 〒491-8035 一宮市末広3丁目6番1号 大和町出張所内

大和町連区地域づくり協議会「あいさつの日 標語募集」係

毎月第三日曜日「家庭の日」の翌日は
あいさつの日
地域みんなであいさつを交わそう日

大和町連区では、毎月第三日曜日「家庭の日」の翌日には、地域の交流を深める活動として「あいさつの日」を実施しています。この度「あいさつの日」活動の主題となる標語を募集することにしました。募集期間は、令和3年9月17日(金)までです。応募用紙に住所、氏名、連絡先などを明記の上、大和公民館に置いてある応募箱へ入れてください。たくさんのご応募をお待ちしております。

4月19日(日) 5月17日(日) 6月21日(日)
7月19日(日) 8月17日(日) 9月17日(日)
10月17日(日) 11月17日(日) 12月17日(日)

2021年度 大和町連区地域づくり協議会

自主防災推進のために

自主防災リーダー会

期日：毎月第4土曜日午後、場所：大和公民館



町内会を応援する大和町連区地域づくり協議会の「連区自主防災会(石田正月会長)」も体制を整えて活動を推し進めています。

6月、NPO法人日本防災士会愛知県支部防災アドバイザー防災士近藤斎氏を講師に「自主防災の組織整備」

を学びました。日本は地震国、南海トラフ巨大地震の発生確率は30年以内に70~80%、市域は液状化の可能性大、死傷者想定3,000余人。阪神淡路大震災は、倒壊家屋から自力脱出や家族友人隣人などによる救出割合がおよそ90%、亡くなった方の75%が「圧死」、10%の方が「焼死」、救出資機材不足で作業がはかどらなかった。過去の学びから「自主防災会組織、防災資機材の整備」の重要性について力説されました。

NPO法人日本防災士会防災士太田一弘氏より、4月、町内の防災学習会で取り組める防災笛作り、寝室の家具や居間などのTVの安全な配置について聞きました。

7月は、『避難所運営』の本部・総務班、情報班、消火・警護班の平常・震災時の具体的な取り組みについて詳しい説明を受けました。

町内で資機材を購入する準備や防災の話し合いが進みつつあります。

見守りネットワーク事業

5月、見守り事業を推進する責任者の「大和町連区見守りネットワーク推進委員会」が開催されました。

一人暮らしの高齢者、高齢者の世帯、昼間一人となる高齢者、障害のある方を含め手助けの必要な家庭、子どものみで留守番をする家庭、母子父子・児童支援家庭など、皆さんとふれあう機会を重ね、気をつけることで共に安心して暮らせるように、『気配り、目配り・声かけ』活動をするものです。協力者は、ご近所にみえる福祉委員(町会長、民生・児童委員、老人クラブ会長)や福祉協力員(町内会組長(班長)、老人クラブ会員)の皆さんがその任に当たっております。

「朝になっても、雨戸・カーテンが開かない」「こここのところ姿を見かけない」「新聞や郵便物がたまっている」など、ちょっとした気配り・目配りなどをしております。皆さんも何か気になることや不安になることがありましたら、福祉委員の方に連絡をお願いします。

(出典：一宮市・社会福祉協議会「見守りネットワーク」)



大和町連区

サロンリーダー研修会



高齢の方を含め町内の皆さんが集い、ひと時を楽しく過ごす「ふれあいサロン」の充実をめざして、サロンの責任者の研修会が6月に開催されました。大和町連区民生・児童委員協議会では、担当者の交流を含めサロンに役立つ実技研修を年数回行っています。今回、わらべ人形「ふりそでの女の子」を折り紙から人形に完成させる技を学びました。見栄えする満足できた人形が出来上がり達成感を、参加された多くの方の言動から推し量ることができました。今後、町内のサロンには、ひと手間加えた内容で広がりをもせていくことでしょう。

子どもの健やかな育ちを

校長先生と民生・児童委員の懇談会

期日：7月8日(木) 場所：大和公民館

連区大和町の児童・生徒は、4月より気持ちも新たに、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に細心の注意をはらい各学校で学びを続けています。そんな中、今年も子ども応援団の民生児童委員と校長先生の懇談会が開催されました。

昨年来、保護者の方々の支援を受けて、学校の環境を整え、子どもと力を合せて楽しい学校をめざして様々な取り組みを展開している。昨年、授業の進め方に工夫を重ねたことが、子どもたちに好評で、今年も引き続き学習指導に努めているとのことでした。学校行事などは感染症予防に留意して粛々と新しい流れを築いていると話されました。一例として、中学生の自己成長の場である一宮市総合体育大会と小・中学校の水泳の指導について説明がありました。

次に、子ども一人ひとりに細かい指導・援助を図り、子どもにとって学校が自己肯定感や達成感に満ちた場になるように指導している。

特に、不登校、いじめや虐待などの悩み事には、学級担任や学年の先生はじめ全ての先生、相談員、関係機関と連携して対応している、と聞いて意を強くしました。「ギガスクール構想：タブレット端末の導入」で子どもの多様な学びが促進される日も近いと聞きました。

最後に、有益な場を提供していただきました校長先生の皆さん、ありがとうございました。

